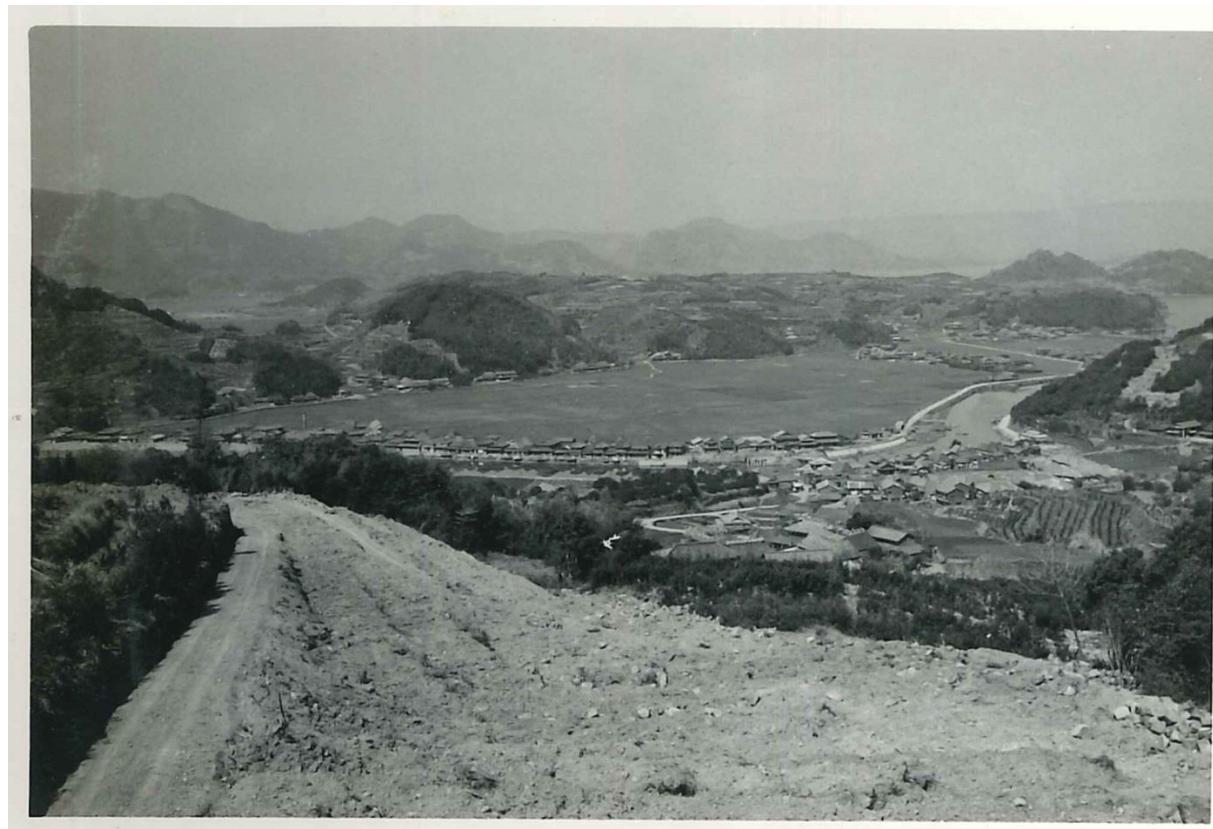


9 岡郷

50年前(1969.1.1):人口 1,704人 世帯数 324

現在(2019.1.1) :人口 3,872人 世帯数 1,559



佐敷川内 昭和 40(1965) 年代



佐敷川内 令和元(2019)年 5月

斎藤・岡方面の景色。



佐敷川内より舟津、氷取方面 昭和 25(1950)年



佐敷川内より舟津、氷取方面 令和元(2019)年5月

長崎～長与間の鉄道開通当時（明治 30（1897）年）は、松ノ頭トンネルが完成していなかったため、長崎を出発した乗客は、長与駅で下車し、そこから人力車で舟津の船着場へ直行し、蒸気船で大村・早岐・川棚へ渡り、汽車に乗り換えていた。長崎線全線開通までの 1 年余りの短い期間ではあったが、長与駅～舟津間は、人力車が賑やかに行き交い、舟津には、宿屋、飲食店、車立場などができる、長与で最も繁華な場所となった。舟津の家並みにその面影をみるとができる。



岡郷 昭和 34(1959)年 6月



岡郷 令和元(2019)年 5月



大村湾を望む(住民提供) 昭和 49(1974) 年 1 月



満永 令和元(2019) 年 5 月

長与浦埋立前の写真。

かつて大村湾では真珠養殖が盛んであり、長与町内でも 3 軒が大村湾において真珠養殖を行っていた。長与町内で真珠養殖を行っているところがなくなり 10~15 年が経つ。



満永白髭神社前(住民提供) 昭和 49(1974) 年 1月

埋立前の長与港。満永の白髭神社（つどいの家横）の前には堤防があった。



長与浦 昭和 40(1965) 年代



長与浦埋立 昭和 59(1984) 年 12 月



長与浦 令和元(2019) 年 5 月

昭和 51(1976) 年から長与浦の海面埋立が開始され、10 年余りの期間を要し、21 万 9 千平方メートルに近い広場が出現。町の北部海辺は目を見はる程の変貌を遂げた。昭和 62(1987) 年にふれあい広場、長与総合公園運動広場がオープン。平成 5(1993) 年に町民体育館が完成した。



岡郷大堂川地区 昭和 48(1973) 年



岡郷大堂川地区 令和元(2019)年 5月

長与町の農業はみかんを中心に栄えてきたが、都市化の進展による農地の宅地化が進み、耕地面積、農家戸数とも減少する中、特に温州みかんは生産過剰による園地の廃園、転換が目立ち、昭和 45(1970)年に 788 戸の農家戸数だったのが、平成 27(2015)年では 293 戸となっている。(温州みかんの栽培農家数：1970 年世界農林業センサス・2015 年農林業センサス)

平成 13(2001)年にオープンした潮井崎交流館の場所は、以前、し尿処理施設であった。